

人口と世帯数	人口	25,549人 (男 12,289人) (女 13,260人)
	世帯	11,507世帯
財産	土地	3,889,189㎡
	建物	87,156㎡
	有価証券	220万円
	出資による権利	8億3,963万円
	基金	6億2,317万円

# 下田市の家計簿はどうなっているの？

市民の皆さんに市の財政状況を知らせていただくため、毎年6月と12月に財政事情の公表を行っています。皆さんの税金や国、県からの交付金などのように使われているかをあらかず、下田市の家計簿とよめるものです。

今回は、平成20年度決算と平成21年度上半期の予算執行状況についてお知らせします。

## 市税の負担状況



1人当たり  
4万0,394円  
1世帯当たり  
8万9,686円

### 個人の市民税



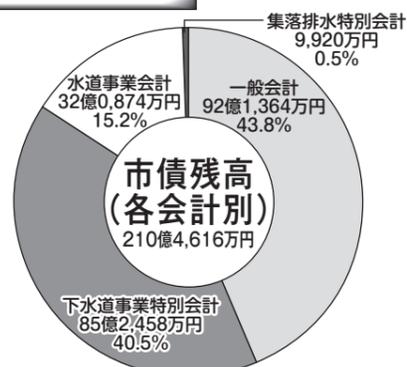
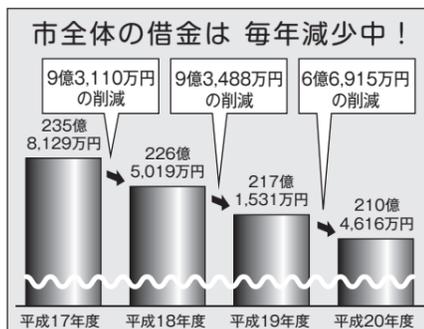
1人当たり  
6万0,515円  
1世帯当たり  
13万4,361円

### 固定資産税

### 市税全体では

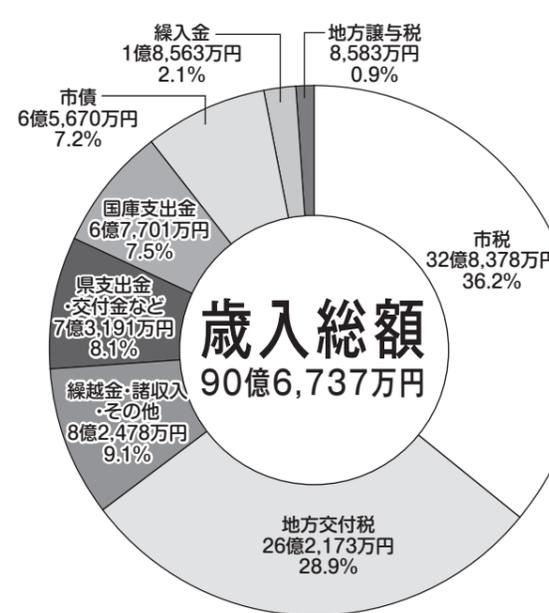
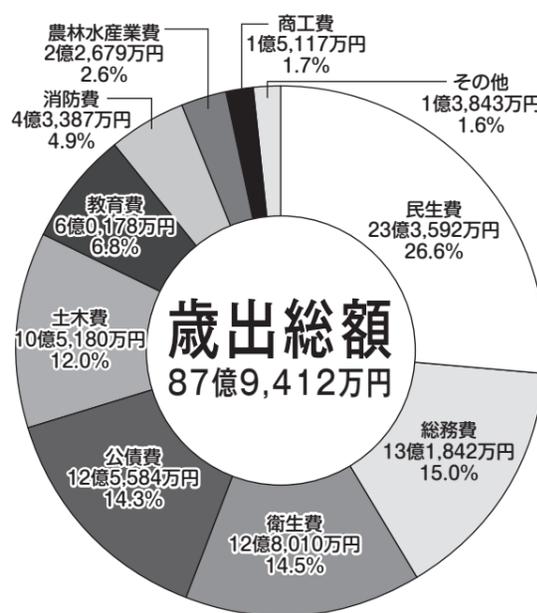
1人当たり 12万8,529円  
1世帯当たり 28万5,373円

## 市債の状況



これまでの上下水道料金の改定や行財政改革の効果が認められ、国から借り入れた金利5%以上の市債について、平成19～21年度の3年間で28億6千万円の繰上償還が承認されました。低金利の民間金融機関に借換えを進めた結果、今後の支払利子が約8億円軽減できることとなりました。併せて、平成22年度末までに市債残高を200億円以下にするよう取り組んでいます。

## 一般会計



## 特別会計及び事業会計

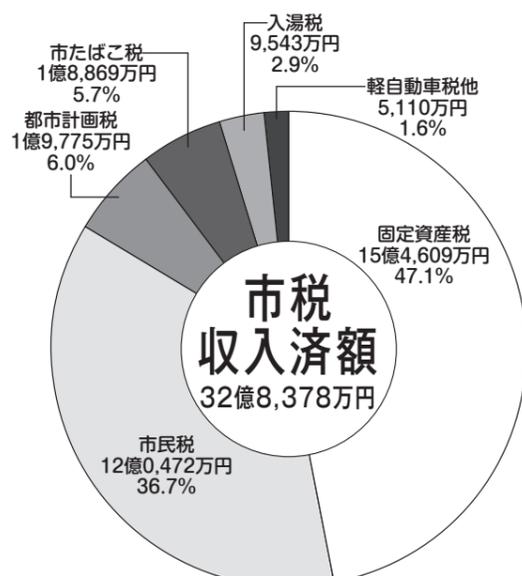
特別会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	144万円	154万円	36万円
下田駅前広場整備事業特別会計	1,219万円	1,221万円	1,153万円
公共用地取得特別会計	4,017万円	4,016万円	4,016万円
国民健康保険事業特別会計	34億5,728万円	34億9,968万円	33億4,526万円
老人保健特別会計	3億2,097万円	3億0,249万円	3億0,192万円
介護保険特別会計	18億4,554万円	18億1,598万円	18億0,063万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,656万円	2億7,480万円	2億7,122万円
集落排水事業特別会計	2,637万円	2,631万円	2,505万円
下水道事業特別会計	29億1,884万円	29億1,087万円	29億0,164万円

### 【水道事業会計】

収益的収支		資本的収支	
項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	6億4,500万円	収入合計	2億5,455万円
営業収益	6億4,030万円	企業債	2億4,740万円
営業外収益	470万円	出資金	280万円
特別利益	0万円	負担金・その他	435万円
支出合計	6億1,749万円	支出合計	5億5,838万円
営業費用	4億9,041万円	建設改良費	3億9,430万円
営業外費用	1億2,232万円	企業債償還金	1億6,326万円
特別損失	476万円	その他	82万円

支出に収入が不足する3億0,383万円は、当年度損益勘定留保資金2億2,827万円、減債積立金5,759万円、その他、1,797万円で補てんしました。

## 市税収入の内訳



平成20年度においては、2年目となるごみ焼却炉改良事業、市民文化会館大ホール整備や定額給付金給付準備のため、歳出決算は約88億円と前年度比0.1%増となりましたが、歳入決算で約91億円の確保ができたため、繰越金が約2億6千万円、実質単年度収支でも約1億2千万円の黒字とすることができました。

環境整備として、「須崎・白浜漁港漁場整備事業」「ごみ焼却炉改良事業(2か年)」を

推進し、防災対策では、「全国瞬時警報システムの導入」にも取り組み、また、教育面では、「下田中学校屋内運動場改修」「4中学校にAED(自動体外式除細動器)の配備」を実施しました。福祉施策の面では、「乳幼児医療費の自己負担と所得制限を廃止」、(福)伊豆つくし会へ「知的障害者(児)施設整備等の支援」を行い、また、観光施策として「爪木崎公衆トイレの整備」にも取り組みました。

# 平成20年度決算の状況